

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ふるさとの歴史・文化遺産を未来に！伝承事業
事業主体 (連絡先)	おもしろ夢倶楽部 (0269-33-4405) (携 090-2430-5051)
事業区分	(3) 教育、文化、スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	
総事業費	742,142 円 (うち支援金： 556,000 円)

#### 事業内容

地域の歴史や文化の中には災害・教訓・道徳観など人々の豊かな経験の蓄積や暮らしの営みの姿を含んでいます。それぞれの時代を生き抜いた先人たちの言葉と知恵を伝え残す事業に取り組みました。

そのひとつとして 102 歳の松田れい子さんが自ら現地を訪ね取材をした町内全地区の昔ばなしの紙芝居を本に仕立て多くの方に目に触れてもらい保存する事業と、もうひとつは失われていく地域の姿や出来事を写した貴重な写真を出来る限りデータ化して、各家で失われつつある紙媒体による歴史写真をデータ記録することを目指しました。



(活動写真)

【3月11日 蟻川図書館】

#### 【目標・ねらい】

- ① お年寄りの生きがいがづくりの機会
- ② 子どもたちに地域の歴史を伝える
- ③ 子どもたちとの世代間交流
- ④ 古い写真をデータ化し残す

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 本の内容にお年寄りが共感できる部分が多く生きがいがづくり向上のモデルケースとして、広く知ってもらえた。
- ② 地元はもとより千曲市以北の全公立図書館に刊行した本を寄贈した
- ③ 3月11日に蟻川図書館にて読み聞かせの会を開き、多くの子どもたちに読んでもらうことで世代間交流と郷土への愛着を深めてもらった。(記事参照)
- ④ 古い写真には様々なメッセージが残されていることに興味を思ってもらいきっかけとなり、新たな活動に広がる兆しを感じた

**※自己評価【 A 】**

**【理由】** とくに紙芝居本の発行は個人負担では不可能だったが制度活用のおかげで発刊後は町外からの問い合わせや反響が大きく、出来上がりも絵本の域を超える内容に仕上がったと思う。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・紙芝居本を松田さんの出生地渋温泉の全旅館の目につくところに置いてもらう事が出来たので、観光地としての歴史的背景や特色を文化的な方向からアピールしていけると思う。今後は「道の駅」などで紹介してもらうことで、さらに町全体の観光資源の一端を担えればと思う。
- ・図書館やイベントなどで利用してもらい地元に残る物語を知ることによって子どもたちに郷土に愛着と誇りを持つひとつの機会となればと願っている。
- ・いきいきと郷土で暮らし健康長寿を目指すモデルケースとして6月に小布施町、8月に長野市の「全国紙芝居大会」にて発表の予定。